

Campus Topics

大 学

第7回世界なぎなた選手権大会
卒業生・加藤大貴さん 優勝、
卒業生・藤田智也さん 3位

7月6日にドイツで開催された「第7回世界なぎなた選手権大会」に、現代社会学部(現・創造表現学部)2007年度卒業生の加藤大貴さん、心理学部2014年度卒業生の藤田智也さんが出場し、共に世界の大舞台で活躍しました。加藤さんと藤田さんは在学中、なぎなた部に所属。仲間への指導も行いながら技を磨きました。卒業後、仕事と両立させて地元の道場で鍛錬し続け、今回の世界大会では共に日本代表選手に選抜。19か国188人の選手たちと競い合い、加藤さんは演技競技「全日本の形」において優勝、藤田さんは試合競技「男子個人の部」において3位という輝かしい成績を収めました。「支えてくれる恩師や仲間、家族に感謝し、さらに精進していきたい」と語る二人は、次の世界大会を見据えて志を熱く燃やしていました。



教育学科4年・村瀬朱里さん 世界U-24アルティメット選手権大会に出場

フライングディスク競技の「種目「アルティメット」の日本代表メンバーに、2019年、文学部教育学科4年・村瀬朱里さんが選出。「WFFDF2019世界U-24アルティメット選手権大会」において活躍しました。村瀬さんが出場したのは、男女混合でチーム編成されたミックス部門。7月13日～20日にドイツで試合

が開催され、決勝戦まで勝ち進みました。アメリカの強豪チームに惜しくも敗れたものの、見事2位入賞。「世界大会でプレーし、スポーツを通して各国の人々と交流できて、とても貴重な経験になりました。今後は教員をめざしながら、フライングディスクにも関わり続けたいと考えています」と力強く語りました。



下呂市と愛知淑徳大学との連携協力に関する協定調印式

9月6日、岐阜県下呂市より服部秀洋市長と同市小坂振興事務所の倉田誠所長を長久手キャンパスにお招きし、「下呂市と愛知淑徳大学との連携協力に関する協定調印式」を行いました。昭和63年に愛知淑徳学園飛騨林間学舎「淑友館」が下呂市小坂町に建てられて以来、小坂町と本学園は交流を深めてきました。学校

行事や課外活動などで毎年多くの学生・生徒が淑友館を活用し、さらに今年にはビジネス学部の大塚ゼミとコミュニティ・コラボレーションセンターの学生達が小坂町の活性化活動に取り組んでいます。今回の協定締結を機に連携がより強化され、学生・生徒のアクティブラーニングが一層充実することが期待されます。



健康栄養学科主催「第1回淑健祭」

7月27日、長久手キャンパス12号棟にて「第1回淑健祭」が開催されました。このイベントは健康栄養学科主催・健康相談室共催による、地域の皆さまを対象とした健康フェスティバルです。健康栄養学科の3年生が主体となり、学修の一環として企画・運営に力を注ぎました。当日は、小学生・成人女性・

成人男性・65歳以上という年代別の参加型プログラムや展示、クイズ、体操などを数多く実施。地域の皆さま一人ひとりが健康や食について楽しみながら学べるように、学生たちは日頃の授業で培った専門性や実践力、コミュニケーション能力を発揮していました。



第2回オープンキャンパス

7月20日・21日に「第2回オープンキャンパス」が長久手・星が丘両キャンパスにて開催されました。大勢の高校生や保護者の方にお越しいただき、2日間の来場者数は6000人を超えました。

第2回オープンキャンパス限定で行われた模擬授業や公募制推薦入試対策講座は、多くの方が熱心に受講し、満席になる時間帯もあるほど大盛況でした。他にも学科・専攻説明や特別企画、保護者向けガイダンスや入試説明など、さまざまな企画内容で愛知淑徳大学の学びを体験することができた2日間。来場した皆さまは、充実した1日を過ごされたようです。



留学生別科修了式

5月17日に2018年度留学生別科修了式が挙行されました。交換留学協定校から集まった、7か国22人(内5人は認定)に修了証書が授与され、修了生代表のアイヒホフ・アナイモさんによるスピーチがありました。「友人、先生方、寮の管理人さんのおかげで日本での留学生生活を有意義に過ごすことができました。」と感謝の言葉を述べました。

修了式後のティーパーティーでは、教職員や共に学んだ仲間たちと思いを語りあい、晴れやかな姿でそれぞれの道へと旅立っていきましました。

2019年度から、留学生別科はキャンパスを星が丘に移し、新たなプログラムがスタートします。それに伴い、本学が目標とする本学全体及び星が丘キャンパスのグローバル化が期待されます。



建築・インテリアデザイン専攻主催「藤村龍至展」愛知巡回展・講演会

建築・インテリアデザイン専攻では毎年、3年次の専門科目「デザインワークシヨップ」の受講生が中心となって建築展をつくり上げています。著名な建築家や東京のギャラリーのご協力のもと、会場設計から施工、宣伝、展覧会の運営までを学生主体で行います。

20回目となる今年度は建築家・藤村龍至氏と連携

し、「藤村龍至展」のかたち——建築的思考のプロトタイプとその応用」の愛知巡回展を長久手キャンパス8号棟で開催しました。会期は8月31日から16日間。9月1日には藤村氏の講演会も行われました。約5か月間、会場づくりに励んだ学生は、仲間と互いに切磋琢磨しながら、建築に関する学修を深めました。



2019年度 オーストラリア研修旅行

オーストラリア研修旅行(メルボルン短期留学・8月21日~29日)に、中学3年生~高校2年生の7人が参加。姉妹校セントキャサリンスの授業や行事、ホームステイを通して、オーストラリアの生活や文化を体験しました。帰国後、参加者は「コミュニケーションの道具として英語が大切なことがよくわかった」、「英語で話が伝わったときはとても嬉しかった。これからもっと英語を勉強したい」、「親切にしてくれたホストファミリーのように、12月にホストシスターが名古屋に来たとき、おもてなしをするつもり」などと振り返りました。今回の異文化体験は日本や自分自身を見つめ直すよい機会になったようです。



夏山登山

7月29日から8月2日、北アルプスの薬師岳に登頂する夏山登山が行われました。中学生34人・高校生17人の計51人という昨年に引き続き大規模なパーティーでの山行となりました。

長く急な登山道をひたすら登り、3日目は薬師岳(2926m)へアタック。51人全員が山頂を極めることができました。薬師岳は所々に残雪もあり、涼しく快適で、下界の猛暑とは無縁の世界。高山植物が咲き乱れ、雷鳥との出会いもありました。

本学園の夏山登山は、1924年(大正13年)に始まりました。95年もの歴史を紡いできた先人たちに感謝しつつ、今後も安全で楽しい夏山登山を続けていきたいものです。



中2 林間研修

淑徳中学校の中学2年生の伝統行事である林間研修は、新元号を迎えて間もなく、5月8日から10日まで2泊3日を実施されました。

岐阜県飛騨地方の豊かな自然の中、天候にも恵まれ、田植え体験、位山ミニ登山、五平餅作りなどの食体験、ナイトハイクト、都会では体験できない経験

を通して、クラスの仲間や宿の皆さんとの親交を深めることができました。

淑友館では、キャンプファイヤーを囲んで、クラスの間と共にスタンツ発表を行いました。3日目は飛騨高山研修で締めくくられ、淑徳生として大切な思い出になる3日間を過ごしました。



2019年度 中学校オープンスクール

さわやかな初夏の陽射しのもと6月1日に中学校オープンスクールを開催しました。9時30分開始ですが、9時過ぎには大アリーナは多くの小学生や家族の方々が訪れ、参加者は1756人でした。管弦楽や吹奏楽の演奏、バトン部やダンス部の演技披露の後、中学3年生が学校の様子を紹介しました。

校内の教室ではいろんな教科の模擬授業がありました。中庭や中、小アリーナ、グラウンドではクラブ体験ができました。中学3年生の親切的対応に、訪れた方々はとても好感を抱いていました。この日に参加できなかった6年生が8月20日のミニ見学会に108人参加しました。2020年度は6月6日開催を予定しています。



2019年度 愛知・岐阜私立中学フェア

7月27、28日にミッドランドスクエアにて愛知県、岐阜県の私立中学校26校が参加して「私立中学フェア」が開催されました。

私立中学の特長について児童や保護者に理解してもらい、進学を検討していただく有意義な機会となつていきます。

今年度は27日午後に台風6号が東海地方に接近し

ましたが、全体の参加者は7054人で、昨年を94人上回りました。

本校のプレゼンテーションや個別進学相談には2日間で259組の方が相談に来られ、入学後の学校生活や学習について熱心に聞き入っておられました。28日11時からアトリウムスペースで管弦楽部の演奏がありました。

